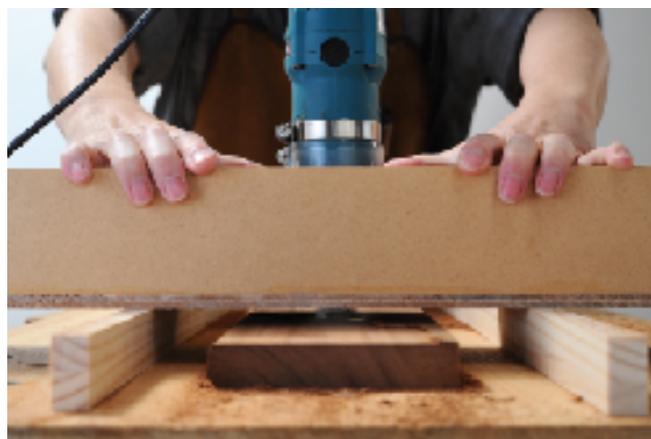


トリマーで材を平らにする

トリマーやルーターで反りなどクセのある材を平らにすることができます。

手押しガンナや自動カンナで材を平らにするのが一般的ですが、作業スペースに制約がある場合などはこの方法で同様の結果を出すことができます。構造はレールの上に置いたキャリッジを前後左右に動かして材を一定の厚みに削ります。製作のコツはキャリッジの中央部がたわまないよう丈夫な構造にすること。また、トリマーのモーター部にホースクランプを付けておくと切削深さストッパーとして使えます。最終深さのところまで固定しておきます。一度の切削量を1~2mm程度に留めながら、何度かに分けて削り、最後にストッパーの位置で削ります。左右のレールを異なる高さにすれば斜めの板に仕上がります。



ワークベンチからトリマービット先端までの距離が、仕上がる厚みになる。設定はワークベンチ上に希望する厚みのスペーサーを置き、そこまでビットを下げることで行なう。



ホースクランプをトリマーハウジング（透明プラスチック部）の周囲に接するように固定すると切削深さストッパーとして使える。下に見えるのはアクリル板を重ね、希望の厚みにしたスペーサー。この厚みが材の厚みになる。トリマービット先端をこのスペーサーまで下げる。使用するトリマービットは刃径が大きいと効率的な作業につながる。

ワークベンチ上に並べた2本のレール上をトリマーを固定したキャリッジが移動。前後左右に動かすことで材を平らにする。レールと材は両面テープで固定。材がガタガタする場合はクサビや厚手の両面テープなどで落ち着かせる

